

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

おぢかちょう

No.-32 : 長崎県小値賀町

(人口 : 2,868人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

【福岡市博多港より】 野母商船「フェリー太古」にて5時間半(23:30発 朝5:00着)
【長崎県佐世保市より】 九州商船「フェリーなるしお」にて約3時間(1日2便)
九州商船高速船「シークイーン」にて1時間40分(1日2便)

(2) 事業実施の目的等

若者(学生)が長期にわたり、地域の特色を活かした島暮らし体験や交流プログラムへの参加を通じて、地方の良さを知ってもらいつつ、外部から見たフレッシュな感覚で小値賀町における取り組みに対して提言・評価を行ってほしいと思います。また同時に小値賀町にとっても、都市の若者の受入や交流を通じて、地域の活性化やUターン促進のきっかけづくり等に役立てるという目的で実施します。

(3) 体験の内容

- ・農業、漁業、福祉事業などの体験(稲作、イサキの夜釣り体験、老人ホーム職場体験等)
- ・当町の観光拠点でもある「野崎島」にて、キャンプリーダーや自然体験活動等の体験
- ・当町が進めている「古民家再生事業」についての体験・研修
- ・島ならではの文化や民泊の体験、ペーロン大会・夏祭り等のイベントへの参加
- ・島の若者や、各産業との意見交換

(4) 受入主体

小値賀町

(5) 受入期間

8月上旬～ 9月上旬
約1ヶ月間を予定

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費：自己負担 宿泊費：なし(町が負担) 食事代：原則自己負担。交流会費については一部負担あり 体験料：町より体験料の助成あり
①要件	島暮らしに興味がある方、第一次産業と観光の連携に興味がある方で何事にも積極的に参加し、自論を人前で発表できる方
②応募締切り	6月29日(金)必着 ※別添の募集参加申込書・小論文記入用紙に必要事項を記載の上、担当者まで郵送をお願いします。
③宿泊施設	セミナーハウス(町宿泊施設)・民泊・野崎島自然学塾村など
④食事形態	・基本的に自炊(共同調理) ・民泊では、民泊家族と朝・夕を一緒に料理
⑤その他	

(7) 地域担当者から一言

今までインターンで来た学生たちは「小値賀中毒症」になって帰って行きました。この町(島)には一度来ると病み付きになる大自然・美味しい魚や野菜、そして何より家族のようにあたたかい島民がたくさんいます。今まで出来なかったような体験を通して、あなたのフレッシュな感覚を、あすの小値賀の町づくりに活かしてみませんか!

(8) お問い合わせ先

自治体名	小値賀町	担当部署	総務課自立推進班
(ふりがな)	なかの たかき	TEL :	0959-56-3111(代表)
担当者氏名	中野高樹	FAX :	0959-56-4185
E-mail :	な nakano-takaki@ojika.net		
URL :	http://www.ojika.net		
応募宛先	〒857-4701 長崎県北松浦郡小値賀町笛吹郷2376番地1		